



2023年度熊取町学童保育所指定管理者モニタリング判定結果「総合評価A」

2022年度より指定管理者公募が随意選定となり、学童保育事業の透明性の確保及び質の向上を図るため、毎年町によるモニタリングが始まりました。2023年2月に実施された2022年度分の総合評価及び判定結果を受け取りました。

総合評価	A	満点に対して7割以上の得点
判定	安定	学童保育所の管理運営について、求める水準を満たしている。
講評	入所申請・判定、料金決定・徴収、文書管理、人員配置、労働関係法令遵守、職員教育、苦情対応、施設・設備維持管理、セキュリティ監理、衛生管理、関係機関との連携等、おおむね適正に運営されており、町が求める水準を達成している。 利用者アンケートでは、高い評価を受けている。苦情もあるものの件数は少なく抑えられている。児童の人権を尊重する運営理念や他市町村よりも厚い職員配置、保護者との信頼関係づくりに努力していることが高評価につながっている。(以下、略)	
改善指示書	(1) 学童保育所の運営のために作成または收受する文書について、文書処理簿を備えられたい。 (2) アレルギー児にアレルゲンを含むおやつ等を誤って提供する事案が発生したため、再発を防止するための対策を講じられたい。 (3) 総合評価得点率は7割以上であるものの、項目によっては7割を下回っているため、評価項目全般にわたり7割以上得点できるように努められたい。	

理事会では、この判定結果を受け止め、運営にいかしていくように努めていきます。

改善指示については、審議のうえ「改善報告書」を速やかに提出しました。アレルギー児への誤配事案については、すでに2023年度より危機管理マニュアルとは別に「食物アレルギー対応のてびき」を作成し、てびきに基づく「食物アレルギー調査票」「個別対応表」「おやつ提供時確認表」「エピペン受取・返却確認表」などを用いて支援員が複数チェックをおこない、管理体制の改善を実施しています。

◆ 9/7 第3回理事会

夏休み後の理事会は、理事11名が出席しました。
今年の夏休みの報告等、たくさんの議論をおこないました。

通年利用学童保育所

1. 「通年利用」の在席児童は、夏休みを過ぎ継続率98%で推移しています!

	中に	中げ	中な	南た	南と	西と	西な	西み	西サ	西ナ	北だ	北あ	北ペ	北し	東ス	東く	計
7月	<u>50</u>	<u>55</u>	<u>45</u>	36	27	<u>50</u>	<u>45</u>	<u>39</u>	<u>32</u>	31	<u>47</u>	26	38	26	44	<u>65</u>	656
8月	<u>50</u>	<u>55</u>	<u>45</u>	36	27	49	43	<u>39</u>	<u>32</u>	30	<u>47</u>	26	40	24	43	63	651
9月	49	<u>55</u>	44	36	24	46	41	<u>39</u>	<u>32</u>	30	<u>47</u>	26	38	24	39	64	634
	148			60		188				135			103				

7月入所6名（南2, 西1, 東3）+転入5名、8月入所3名（南1, 北2）+転入2名、9月入所3名（中1, 西1, 東1）+転入9名の入所承認をおこないました。全体の在籍継続率は98%で推移しています。

各月の転入は、居住地外に入所していた子どもが居住地のクラブに転入(移動)した人数です。

9/1在籍は、待機児童なし、中央小の子どもが南学童に入所措置されていましたが中央学童に転入になりました。しかし、まだ居住地のクラブに入所できていない子どもが、中央げんき6名・西みらくる3名・西サニー1名・北だるま3名、計13名措置されており、4クラブが入所許容人数でいっぱいとなっています。（※人数の下に がひかれているクラブが許容人数いっぱいのクラブです）

2. 「限定利用夏休み」は、定員いっぱいの3小学校内90名!

夏休み利用人数	中央小学校内	北小学校内	東小学校内	合計
許容人数	30	30	30	90名
夏休み(7/21~8/23)	30	30	30	90名

入所決定後に3名の利用辞退があり、熊取町入所選定基準表にて優先順位の高い方3名の入所決定をおこないました。入所不許可の方で、通年利用8月の入所申請を利用された家庭(2名)もありました。

各限定学童にはいろいろな小学校校区の子どもが集まり、「初めまして」の子どもたちでの生活づくりとなりました。子どもたちの様子については、NPOホームページブログをご覧ください。

